

食卓の周辺

皆様それぞれに良い新年をお迎えになられたことと思います。わが家は、年末30日に長男夫婦と娘の家族一家が帰省し、新年を迎えました。

何かと気配りをしていた明るく優しい次男・淳がいらないのは残念ですが、今も私の心は、常に淳と一緒に聞かせ、淳だったら、こんなときこうするだろうなど、そんなことをいつも思っています。

元日には、家族揃って、お墓参りに行きます。例年は、夫の誕生日であり、月命日の12月31日にお墓参りに揃って出かけ、元日には健軍神社に詣でておりましたが、今年は喪中ですので。

日記をつける習慣がない私。今までも三年連続日記帳を買ったこともあったのですが、全然続きませんでした。しかし、このところの記憶力の低下が不安になり、12月から机上ダイアリーの僅かなスペースにその日のことを思いつくままに書くようにしました。それでも二、三日溜ま

りますので、思い出して記録するのは脳のよいトレーニングになっています。

新しい年の机上ダイアリーも買いました。一日も欠けることなく記録することを目標としています。もう一つは経費明細をつけ始めたことです。これまた、結婚以来家計簿をつけたことがあります。お店でレシートを渡されてもすぐ捨てていたのです。これもボケ防止と考え、続けるように努力したいと思います。

*

19日は、西原4町内公民館で、「親子で楽しむお話し会」でクリスマス会をしました。古上さんが暗幕など借りてきてくださり、亡くなった次男が「子どもたちにクリスマスツリーの飾り付けをさせるといいよ。」と言っていたことを覚えていてくださり、倉庫からツリーを出してきて、子どもたちに飾り付けをしてもらいました。ドイツ旅行でツリーの飾りを買ってきたくれたのも次男でした。21日は、古上さんと事務室の片付け。23日には、松村さんと渡辺さんに手伝ってもらって年賀状の準備。ぼんやりしていることの多い私ですが、若い方がテキパキ準備してくださるので大いに助けられています。

年末は、七七日忌の後にご弔問いただいた方々へのお返しのお買物で、夕方からデパートへ出かけるのが日課になっていました。その合間、日中の暖かい日、昔から倉庫にあったとうろくを出してきて、少しばかりの庭を、思い切り深く掘り起こし、牛ふんと化学肥料を撒きました。その後にはビオラ、ゴテチャ、千鳥草、金魚草、葉牡丹などを植えました。四季咲きバラも二株。春がたのしみです。仏間は今、次々といただいたたくさんのお花に囲まれています。

*

先月から『初菫』25号編集にどっぷり浸かっています。渡辺さんが新しいソフトを購入し、編集をやってくださいっていますが、かなり複雑なレイアウト・ソフトのようです。でも、説明書と格闘しながら新しい技術を習得しておられるのには、ただただ感心しております。

作業は、それぞれの担当の皆さんから届いた原稿を、私がチェックし、ワードで割付したものをメールで渡辺さんに送り、渡辺さんがPDFに仕上げ、それを私が校正する。この作業の繰り返しをやっています。

印刷費を安く上げるということもありますが、何かを作り出すという

アクティブな仕事が愉しくて堪りません。一月中には、『初菫』25号は完成させます。お楽しみに。(横田) 編集||松元明美・渡辺摩利子・横田幸子

熊本子ども本の研究会 発行

〒861-8029

熊本市西原一丁目一五の二四

T/F 096-382-5090